

令和2年度
地産地消に関するアンケート結果

2021年（令和3年）3月
藤沢市

1 調査概要

(1) 実施目的

本アンケートの目的は、地産地消及び藤沢産農水産物に対する意識や関心、消費者の購買動向などについて調査し、今後の施策や事業の検討の参考とする。

(2) 実施方法

郵送アンケート調査

(3) 調査設計

- (1) 調査地域 市内
- (2) 調査対象 市内在住の18歳以上90歳未満の男女
- (3) 対象者数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 回答方法 郵送回答もしくはWEB回答
- (6) 期間 2020年11月2日(月)発送/11月30日(月)締切

(4) 回収状況

3,000人中、1,587件を回収(回答率52.9%)
うち、郵送 1,268件 WEB 319件

(5) 対象者内訳

次の年代別対象者数を前提とした地区別人口比に応じて抽出

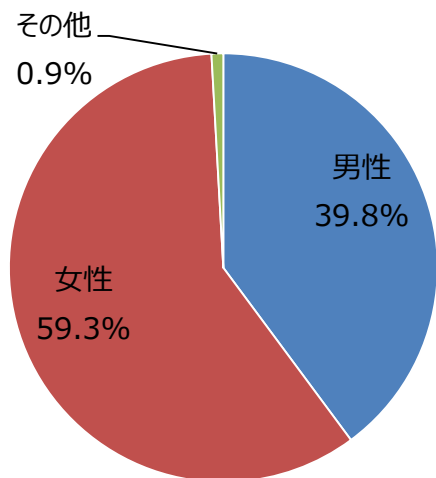
年代	対象者数 (人)	年代	対象者数 (人)
18歳・19歳	375	50歳代	375
20歳代	375	60歳代	375
30歳代	375	70歳代	375
40歳代	375	80歳代	375
		合計	3,000

(6) 調査結果を見る上での注意事項

- ・グラフに使われる「n」は各設問に対する有効回答者数、「k」は有効回答件数である。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。

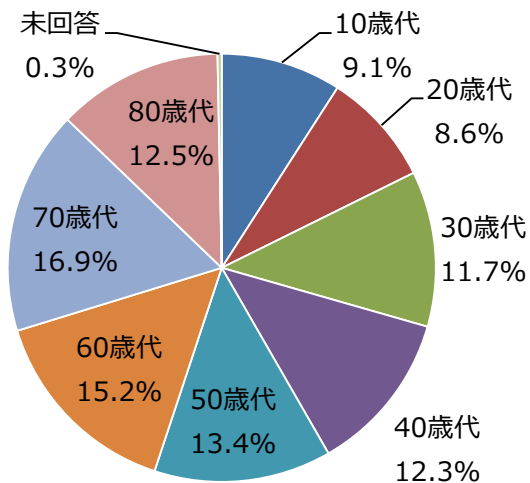
2 集計結果

(1) 性別



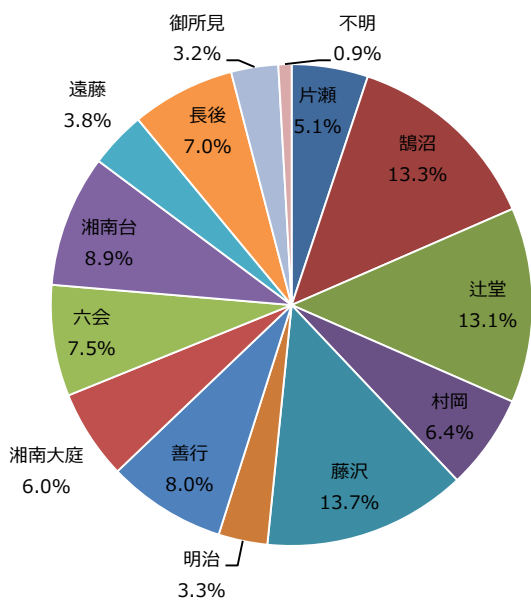
n = 1,581

(2) 年代



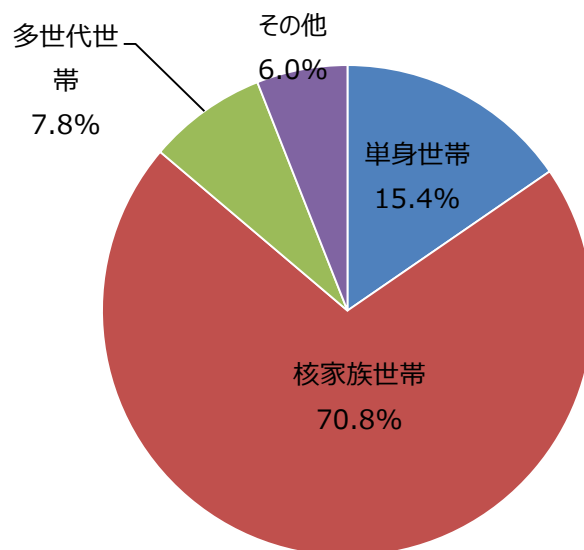
n = 1,583

(3) 居住地区



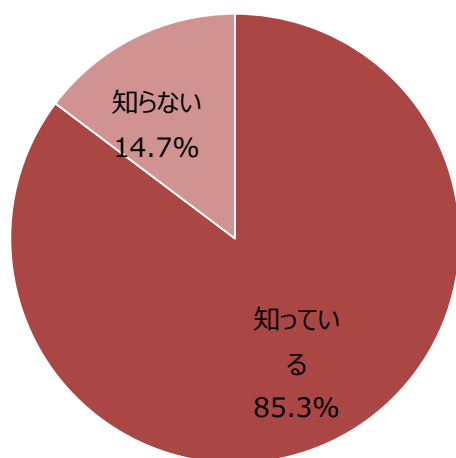
n = 1,581

(4) 世帯構成



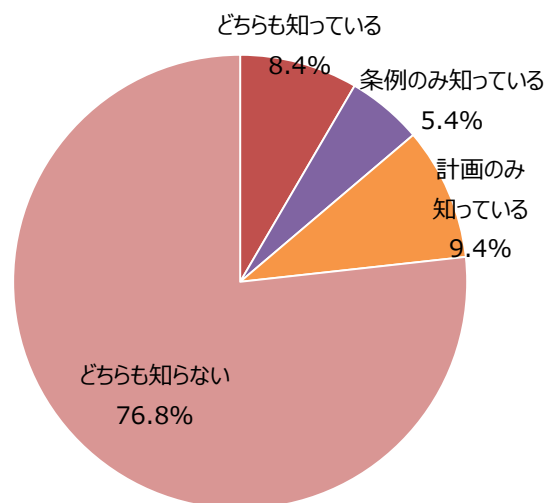
n = 1,571

(5) 地産地消の認知度



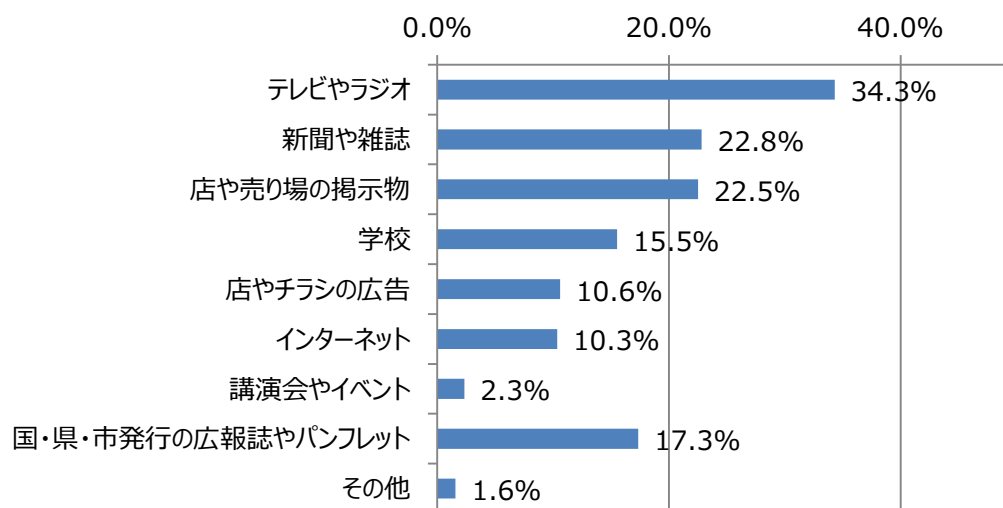
n = 1,567

(6) 藤沢市の地産地消に関する 条例・計画の認知度



n = 1,355

(7) 「地産地消」について何からお知りになりましたか。((5) で知っていると回答した方) (複数回答可)



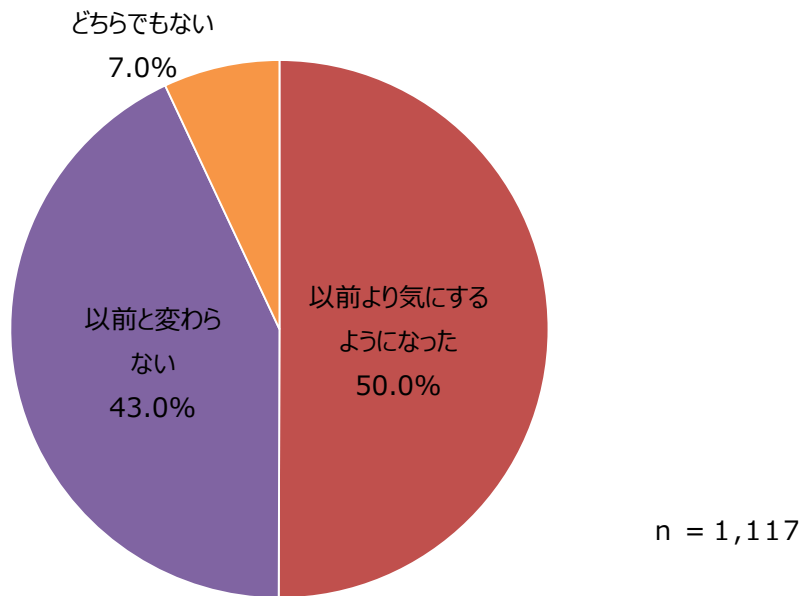
n = 1,110

k = 2,178

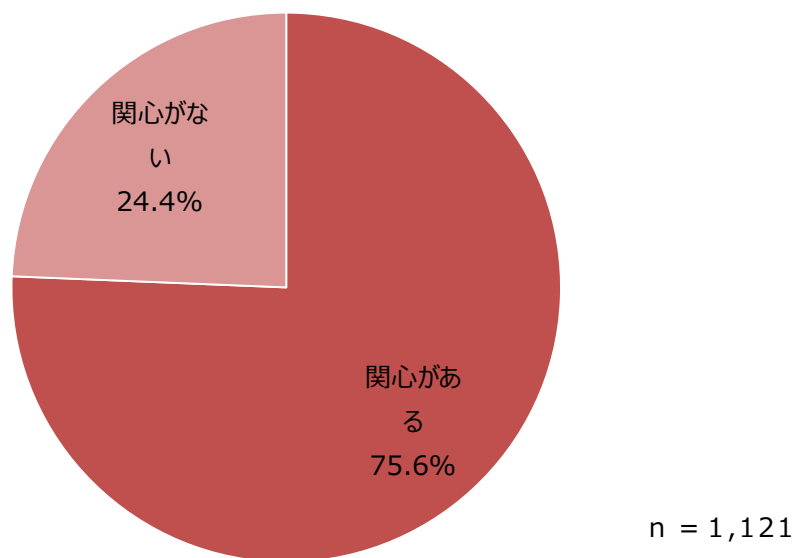
※その他の回答

- ・仕事を通して知った
- ・家族から知った
- ・近所のお店
- ・ふるさと納税
- ・言葉から意味を想像した
- ・市役所の掲示物
- ・書籍
- ・一般常識

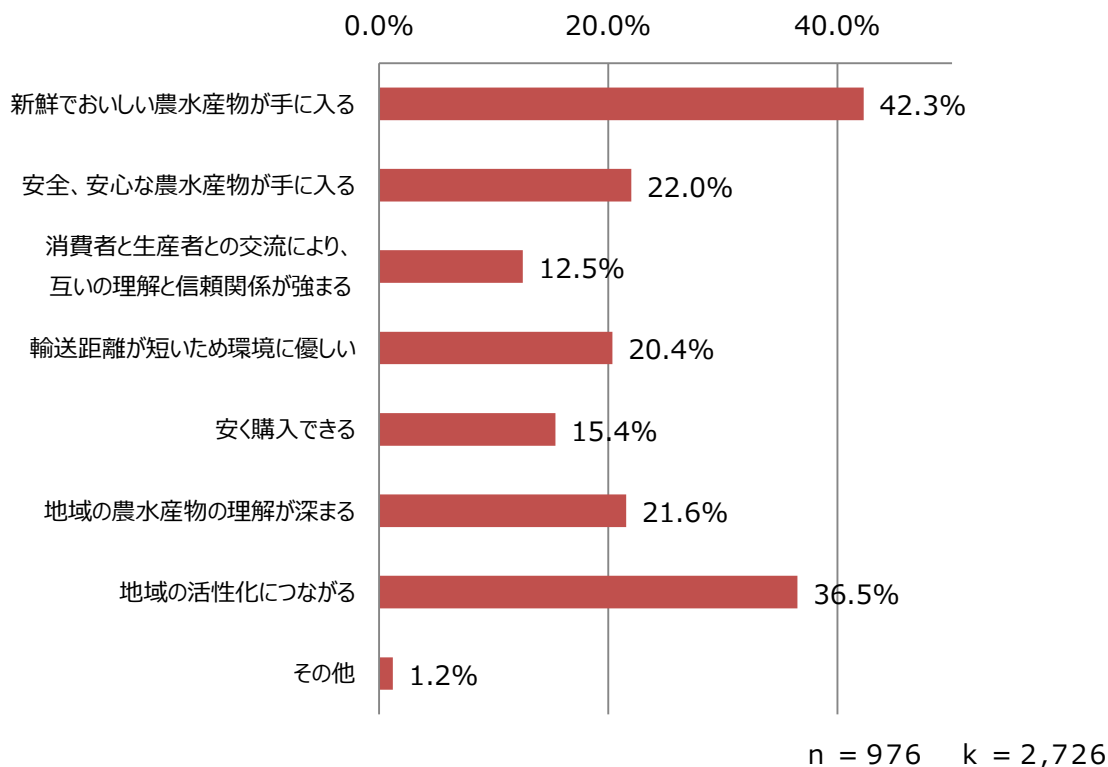
(8) 住んでいるまちの農水産物を意識するようになりましたか。((5) で知っている
と回答した方)



(9) 普段から「地産地消」に関心がありますか。((5) で知っている
と回答した方)



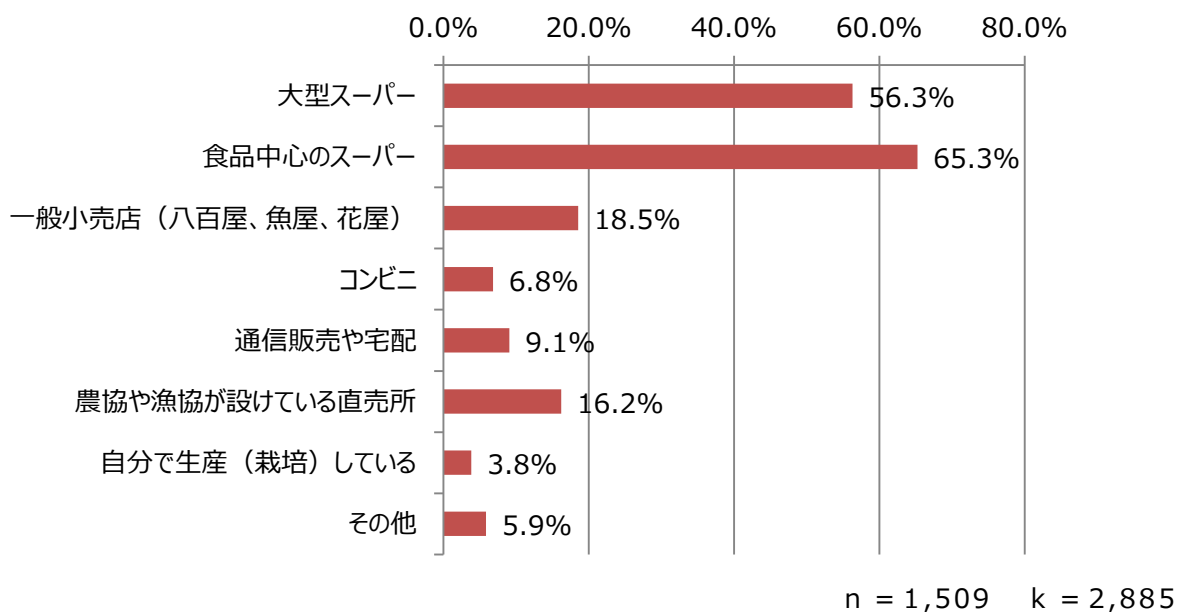
(10) 「地産地消」のどのようなところに関心がありますか。((9) で関心があると回答した方) (複数回答可)



※その他の回答

- ・地産地消するにも販売しているところが近くにない
- ・自分の住んでいる地域をより知れて好きになっていく
- ・藤沢市内には多くの農水産物があり、新鮮かつ安全である
- ・こんなにもいい街なので対外的に藤沢のブランドイメージの活性化に上手く活かせないか、関心をもっている
- ・巡回直接販売を積極的に利用したい
- ・調理方法などを教えてもらい、料理のレパートリーが増えた
- ・値段、品質があまり変わらず、かえって高いと思うことがある
- ・地産地消ゆえに安く購入できるように出来ないか
- ・その土地で作られている（よく育つ）食べ物は、その土地で暮らす人に合っていて、必要なこと
- ・災害時や輸出入規制が起きた場合に食料の供給が止まらないと考えられる

(11) 普段、農水産物はどこで入手することが多いですか。(複数回答可)

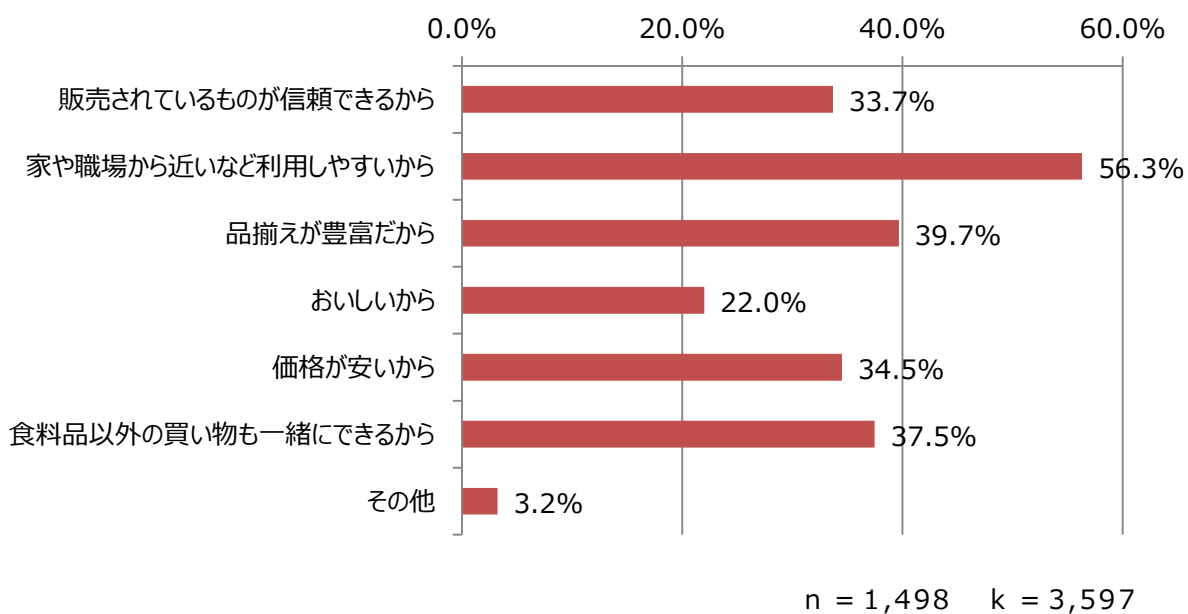


※その他の回答

- 無人販売
- 農家直売所
- 家庭菜園

- デパート
- 親族、知り合いからもらう

(12) (11)で農水産物を入手されている理由は何ですか。(複数回答可)



※その他の回答

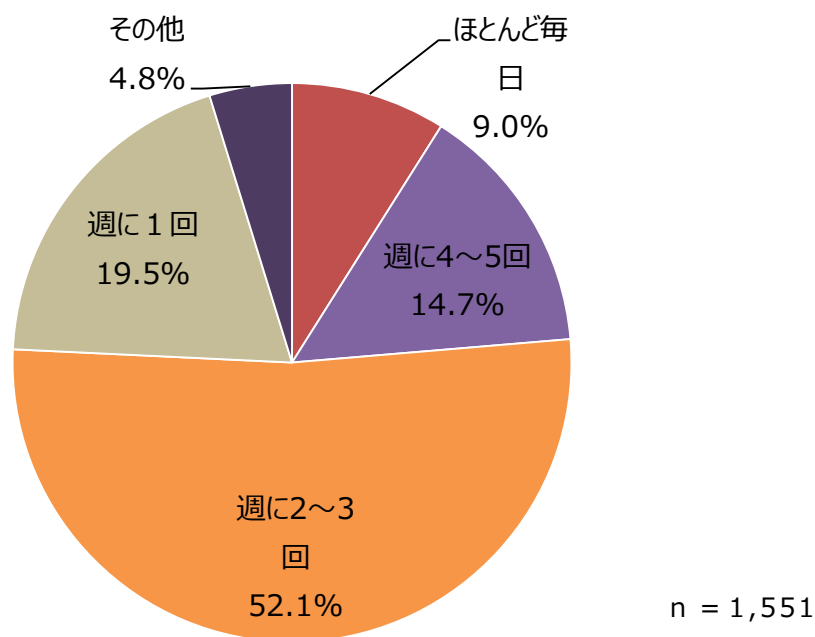
- 地元商品を販売しているから

- コロナで近場しか行けないから

地元ならではの商品に出会えるから
 新鮮だから
 ポイントが貯まる
 楽だから
 市役所に置いてあるパンフレットを見て
 宅配は便利だから
 無農薬など安全で安心な野菜を食べたいから
 楽しいから
 野菜のもちがよい
 地産の応援
 なるべく密になりにくいスーパーを選ぶ

どんなものがあるか関心があるから
 プラスチックの袋に包装されていないものが多いから
 食料としてどこかで購入せざるを得ない
 家族に地産地消に関心のある人がいるから
 地元農産物を知るきっかけになるから
 病院に行く途中で売っているため
 その日の朝に取れた新鮮な野菜を売っているため
 24時間開いているお店だから
 近いから

(13) 農水産物を購入する頻度はどれくらいですか。



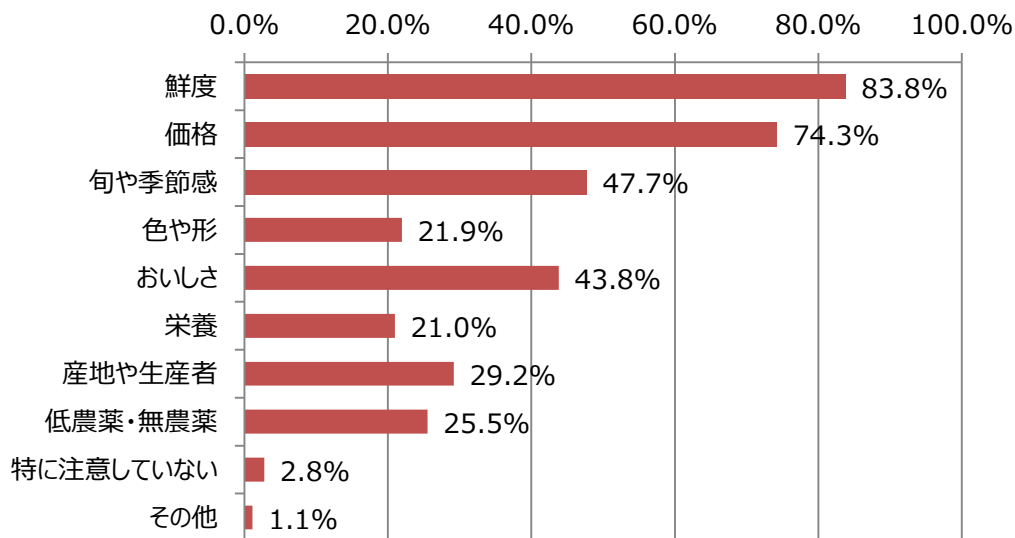
※その他の回答

・自分では購入していない

・月に1、2回

(14) 購入する農水産物について、どのようなことに注意して選んでいますか。

(複数回答可)



n = 1,552 k = 5,570

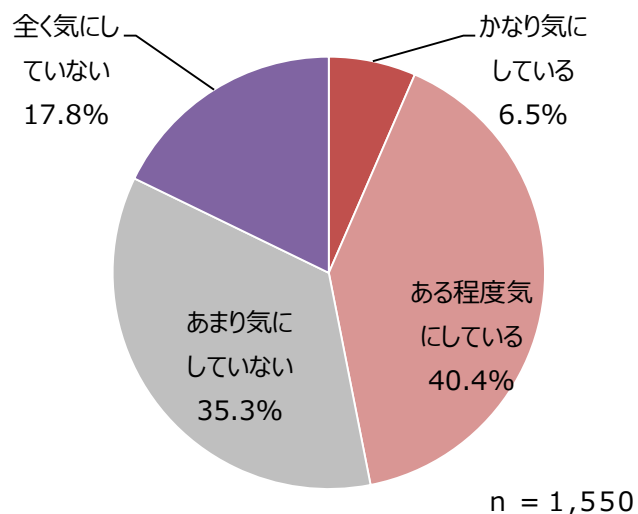
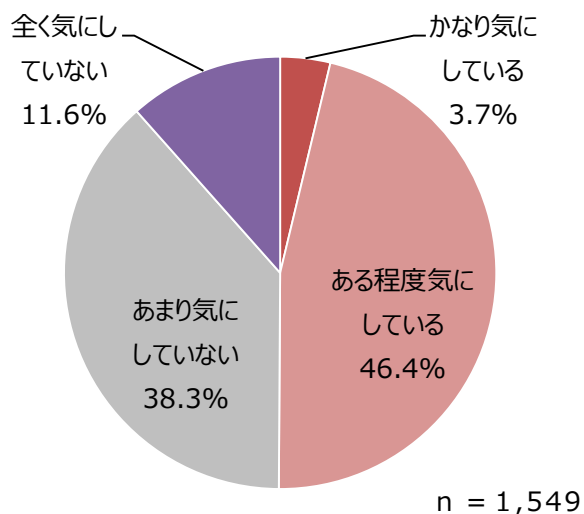
※その他の回答

- ・国内生産物を購入する様にしている
- ・外国産は買わないようにしている

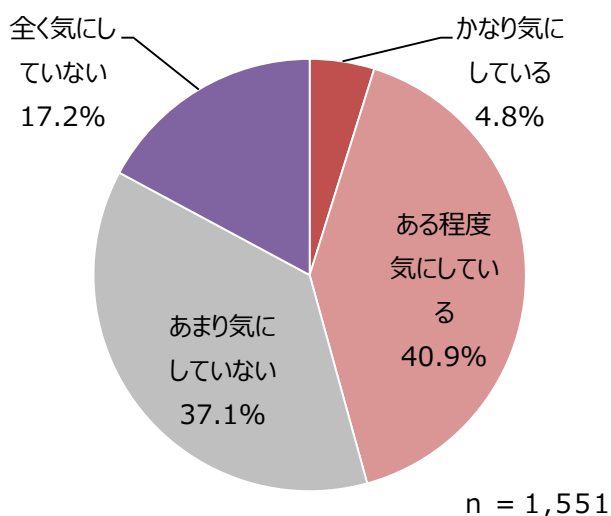
(15) 購入する農水産物の産地に関して、どの程度気にしていますか。

①ブランドとして有名な産地のものであること。

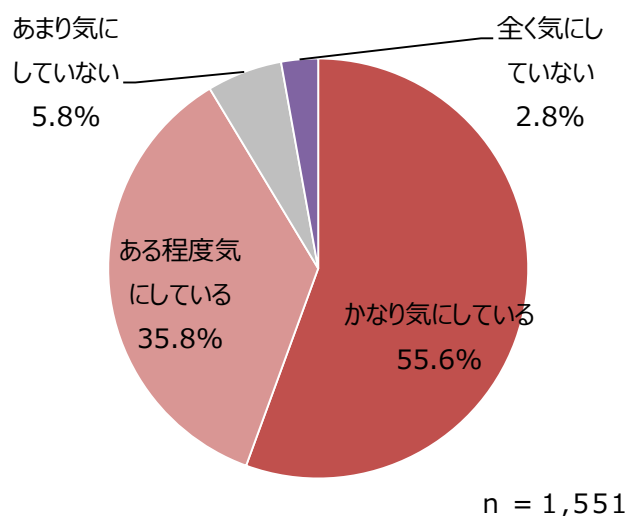
②藤沢産のものであること。



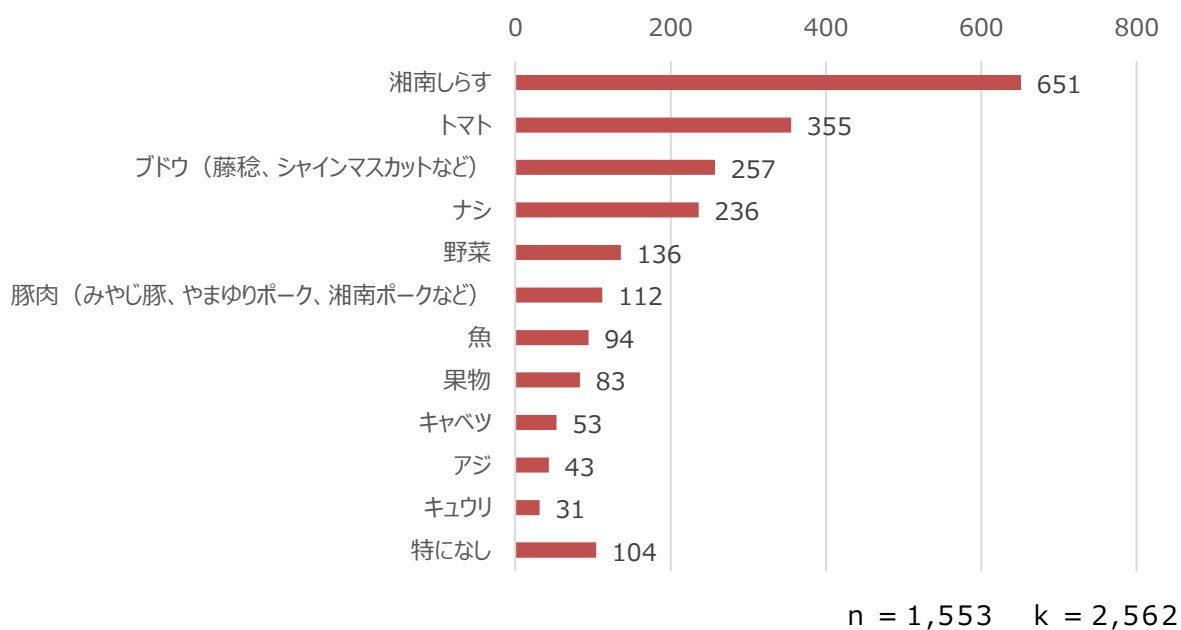
③ 県内産のものであること。



④ 国産のものであること。



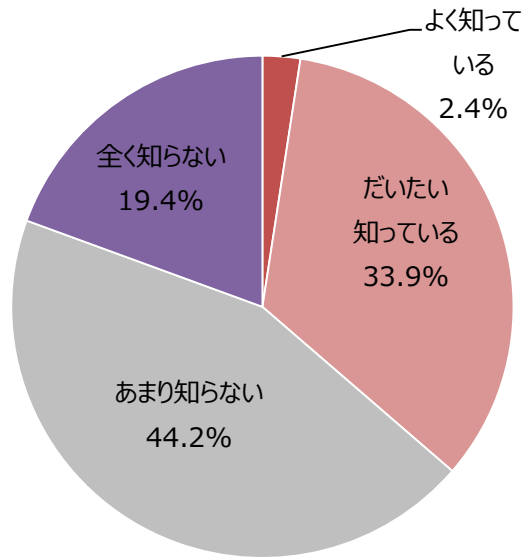
(16) 藤沢産の農水産物といえば、何を連想しますか。(複数回答可)



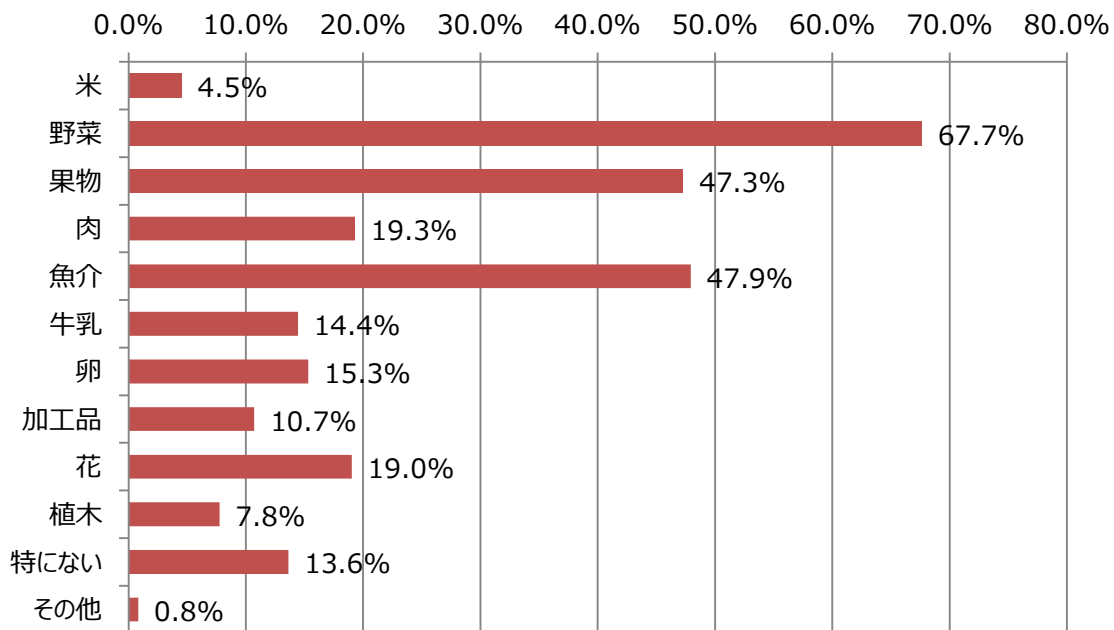
※主なその他の回答

- ・ほうれん草
- ・小松菜
- ・湘南はまぐり
- ・さつまいも
- ・湘南ゴールド
- ・イワシ
- ・大根
- ・とうもろこし
- ・米 (はるみ、あいがも米など)
- ・花
- ・牛乳
- ・柿
- ・レタス
- ・サザエ

(17) 藤沢市内で生産されている農水産物の旬の時期をご存じですか。

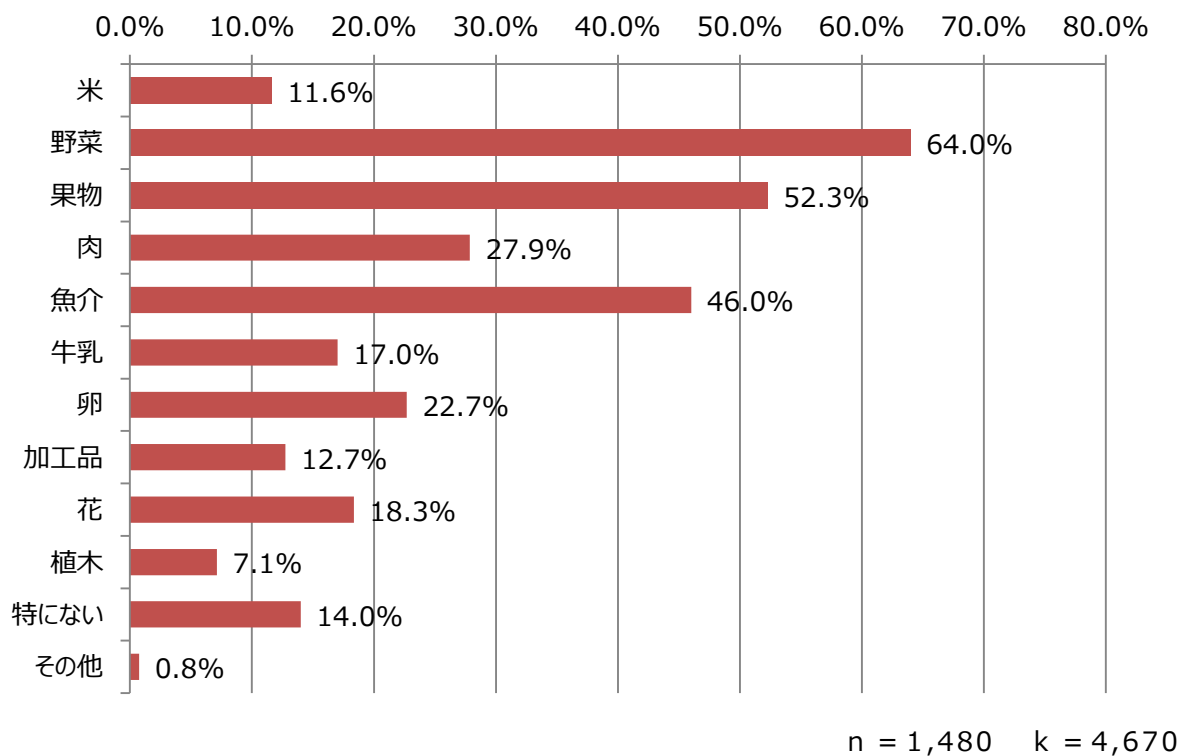


(18) 購入したことがある藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)

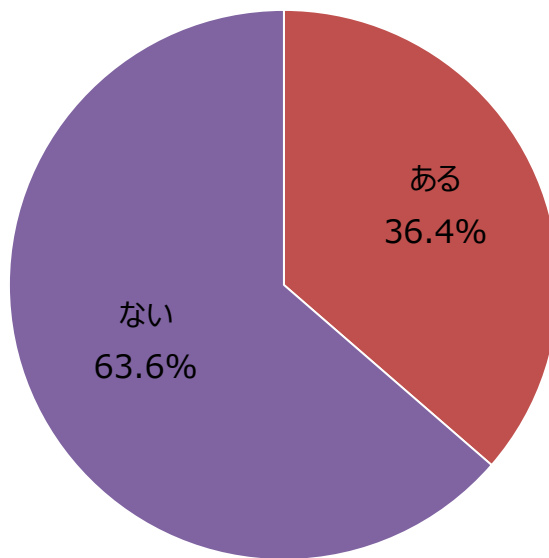


k = 1,492 n = 4,257

(19) 今後、購入したい藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)

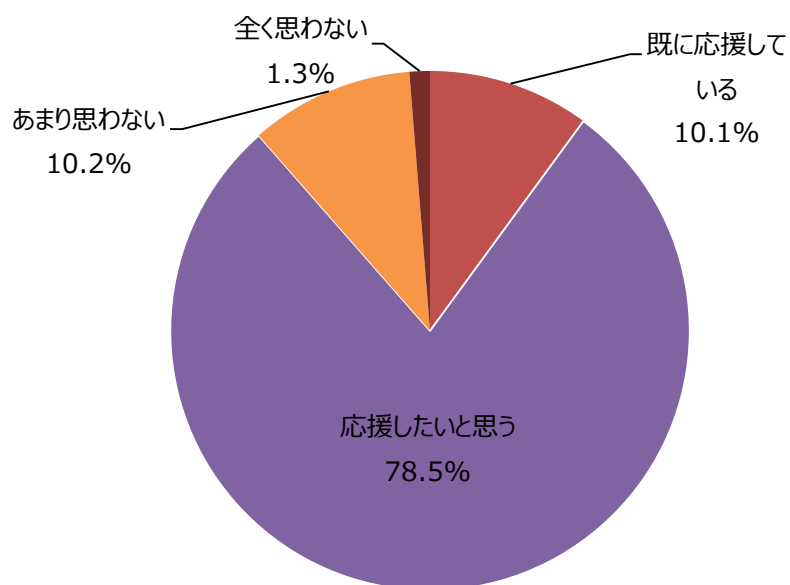


(20) 「藤沢産」ロゴマークを目にしたことがありますか。



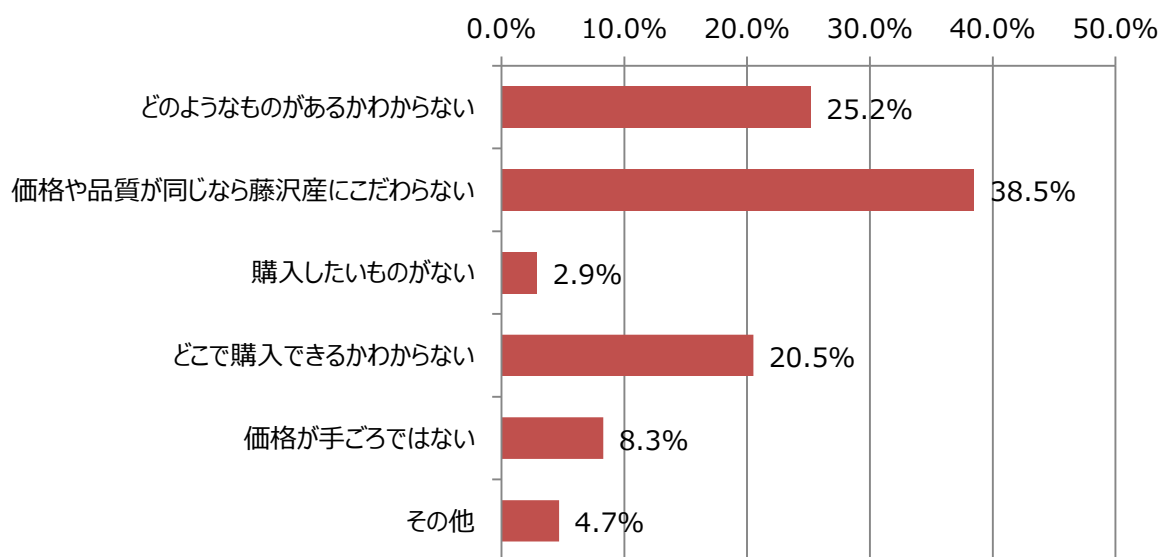
n = 1,493

(21) 藤沢産の農水産物を購入して「地産地消」を応援しようと思いますか。



n = 1,492

(22) 藤沢産の農水産物を購入して「地産地消」を応援しようと思わない理由はどのようなことですか。((21) で「あまり思わない」、「全く思わない」と回答した方) (複数回答可)



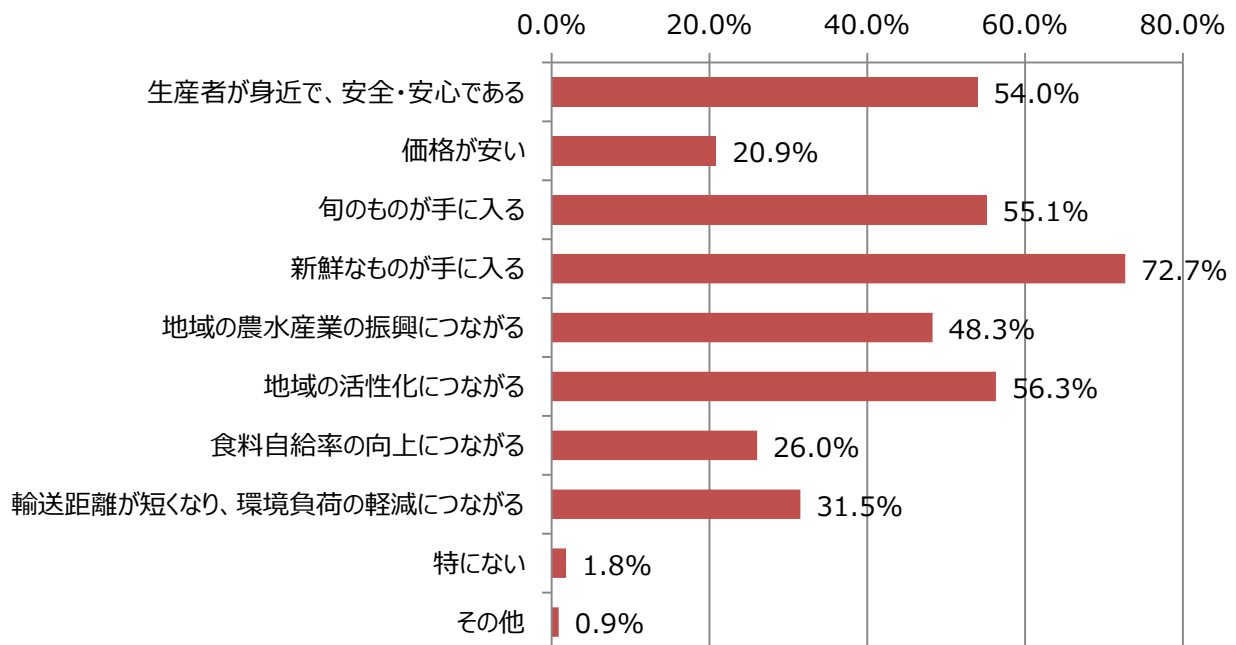
n = 182 k = 278

※その他の回答

- ・藤沢市の活性化が第一次産業に依存しているという印象があまりないから
- ・興味がない
- ・有名な産地の美味しいものを選べばいいと思う
- ・美味しくないのであった
- ・ロゴマークの付いてる物がわからない
- ・"いつも近くの生協で買うので。近い地域のものから買う。
- ・のぼり旗が立っていれば寄る
- ・販売しているところがわからない
- ・販売している場所が遠い
- ・購入する機会がない

(23) 「地産地消」のメリットとして、あなたの印象や感じるものを選んでください。

(複数回答可)



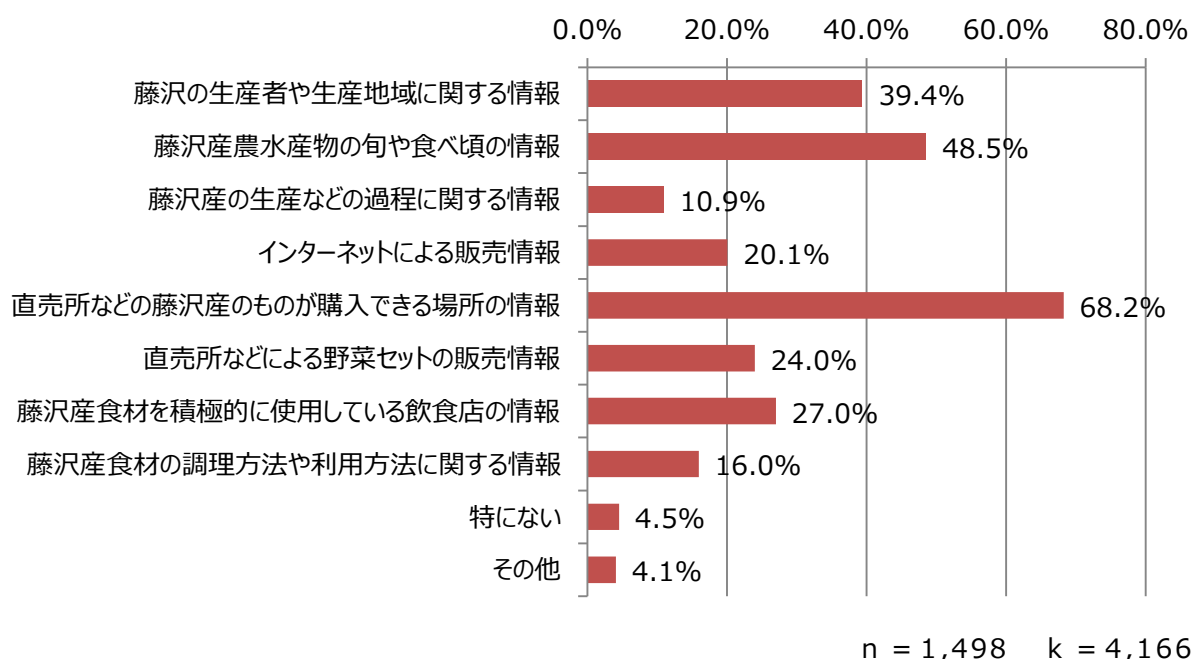
n = 1,475 k = 5,829

※その他の回答

- ・希少品種が手に入る
- ・地元愛が強まる
- ・他の所へ出回らないことで、希少価値が高まり、ブランドイメージが向上する
- ・食品ロスも減る
- ・市の発展にもつながる

- ・普段から生産品が地域にあれば、災害時等有効に活用できる
- ・他にはないおいしさがある
- ・地産地消のメリットをもっと多く広めた方がいい
- ・将来的に、藤沢市としての活動のみではなく、県内外の他の市町村と連携できるともっと幅広くいろいろなことを知ることができる
- ・流通が短く速いため、コストが安い
- ・地産地消により「ふるさと納税」しているような感じになる
- ・美味しい
- ・放射能汚染されていない

(24) どのような情報があれば、あなたは「地産地消」に取り組みやすくなると思いますか。(複数回答可)

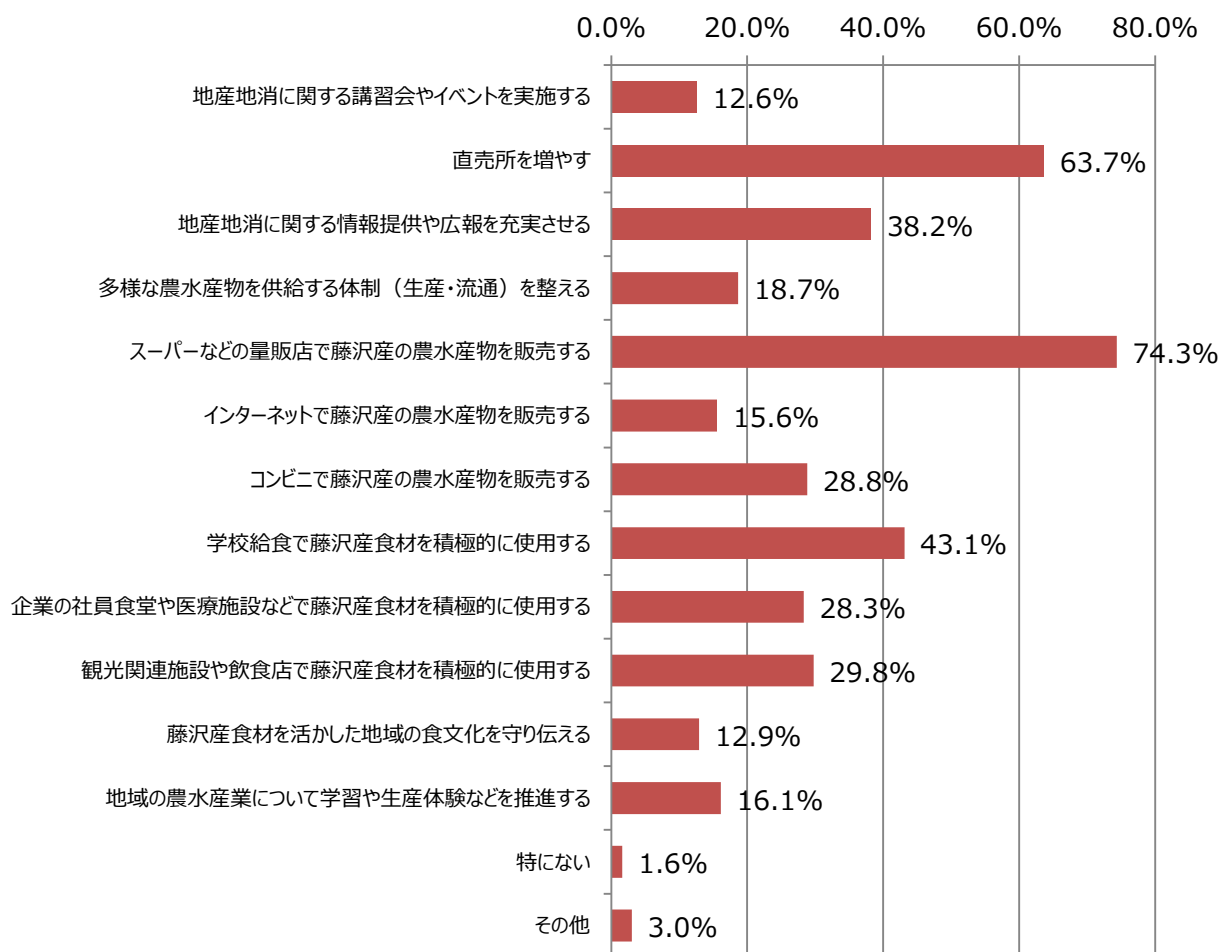


※その他の回答

- ・市内のどの辺りで何が作られているか知りたい。マップをインターネットで見られるといいと思う。
- ・販売所で品物の近くにロゴマークがあればわかりやすいと思う。
- ・藤沢産食材を取り扱っているお店の看板や、置いてある商品が藤沢産だとわかりやすくする。
- ・タウンニュース紙面や携帯広告の利用する。
- ・購入できる場所が増えると目に入るようになる。

- ・タレントさんや民間の経験ある方などにも地産地消の取組に参画してもらおう。
- ・インスタのふじきゅんアカウント、もしくは専用アカウントで発信してほしい。
- ・大型スーパーなどの一角に地産地消コーナーを作る。
- ・若いのであまりスーパーに行く機会がないけれど、江ノ島水族館などに展示してあると目に触れると思う。
- ・親が買い物しているので自分にはよくわからない もっと若者にもわかるように宣伝してほしい。
- ・市役所の前、駅に近い公園など人の集まる所で定期的に市場を出す（月に1回でもいい）
- ・大型スーパーで地元産の販売量を増やし、情報発信する機会を増やす
- ・もっとわかりやすく。イベントではなく、日々の生活空間で。
- ・スーパー等でもっと大きく「藤沢産コーナー」があったらいいなと思う。
- ・直売所の場所が分からない。
- ・その農水産物が新鮮で美味しいことがわかること。
- ・ネットでも購入できる。
- ・広報ふじさわでのお知らせを行う。
- ・藤沢産の農水産物を扱っているスーパーの情報。
- ・SNSを活用する。
- ・藤沢産農水産物を積極的に扱うスーパーや飲食店等に対し、市が公式認定し、認定マークを店頭・店内等で掲示する。

(25) 「地産地消」をより進めるためにあなたが効果的だと思う取組を次の中から選んでください。(複数回答可)



n = 1,501 k = 6,135

※その他の回答

- ・輸送距離が短くエコであることを商品に表示する。輸送コストがかからない分安いのであればそれをアピールする。
- ・駅で販売する。
- ・子供たちがもっと農業に触れる機会があるといいと思う。
- ・利用しているスーパーで鎌倉野菜のコーナーを設けているが、よく売れていると思うので、藤沢産コーナーも設けてほしい。
- ・補助金を助成する。
- ・無農薬、有機肥料などで作っている生産者の野菜などを近くの小売店、直売所などで販売してほしい。また、プラスチック包装なしで販売してほしい。
- ・定期的な訪問販売があるといい。
- ・生産者のこだわりや安全・安心な農産物であることを情報提供してほしい。また、その生産物を購入することのメリットを伝えるべき。

- ・具体的に農薬等の使用量、回数等を示す。
- ・他県のことだが、コンビニで近くの農家で作った野菜が売られていた。コンビニを活用すれば、店舗を新しく設けなくても販売できる。
- ・藤沢産農産物が販売しているところにロゴマークがあればわかりやすい。
- ・駅の近くで藤沢産農産物を購入できる場所があると利用しやすい。仕事帰りに買い物をするので、20時くらいまでやっているといい。
- ・若い方々に農業に関心を持ってもらい、後継者不足で悩んでいる農家の解決に繋が、さらには地産地消にも寄与してもらおう。
- ・コロナの影響で一つのお店でまとめて購入するようになりました。また、ネットスーパーで購入することも多くなり、藤沢産を選ぶことができません。各お店やサイト上で「藤沢産」を表示してもらえれば、購入時の「決め手」の一つになると思う。
- ・スーパーなどでぼり旗や大きなポスターを店頭に掲示して、藤沢産の農水産物を販売していることを知らせる。
- ・農薬を使わず、形や見た目より採れたてを重視し、価格対応への取り組み（市の支援等）も踏まえて、大型スーパーでの販売に取り組む。また、作る事を含む流通から消費までの公的な支援をする。
- ・形などが悪くてもお手頃な値段であれば購入したいので、お得情報があるといい。
- ・たとえ安くても量が多かったり、土がついたままなどでは、単身世帯には購入が厳しい。多種野菜の詰め合わせ（+レシピ付属）などが安価にあれば助かる。また単身者は昼間に仕事もあるので夕方に閉まる直売所は利用できない。
- ・食品を扱っていないところで販売してみる。
- ・割安感を与える。
- ・道の駅などを開設する。
- ・今はコロナで様々なイベントが難しくなっているが、落ち着いた時にはイベント等を開催すれば、大きな効果があると思う。
- ・生協や農協に行きますが藤沢産の野菜は少ないと思う。
- ・駅のサンパール広場など、地域の人が集まる場所に定期的に店を出し、新鮮な魚、野菜、果物を袋単位にして、売りやすく買いやすくし、少し安価で販売すると住民によく知れ渡る。形の規格外などでも新鮮で安価で低農薬の物でしたら売れる。または車での販売でも宣伝して特徴を持たせないといけません。
- ・価格を安くする
- ・ある程度まとまった量や種類を置かないと目がそこにとまらない。
- ・小中学生向けの地産地消に関する講習会やイベントがあったらいいと思う。
- ・コンビニで藤沢産の農水産物を販売して高そうなイメージが払拭できればよさそう。

- ・人の多く利用する銀行とか公民館で日にちとか曜日とか決めて販売するとともにイベントや講習会情報も目に入る形で掲示し、チラシの配布も試みる（定着するまで）。地域の公民館が情報提供するのがいいと思う。
- ・移動直売所が常時あると利用したいと思う。
- ・広報ふじさわを通して、旬の食品のPR、レシピの案内。
- ・クーポンを配布。
- ・保育所や学校に生産者さんや魚屋さんが実際に行って、園児や生徒の前で調理してくれるととても効果があると思う。
- ・テレビのニュース番組、電車・バス乗り継ぎのぶらり旅などで芸能人に食べてもらう。私はそういった番組で鎌倉野菜を知った。
- ・学校給食の献立に藤沢産が入っている場合は給食だよりで知らせてほしい。
- ・販売場所が少し遠くても美味しければ買いに行く。
- ・スーパーや直売所で藤沢産の農水産物を集めたブースを常時または定期的に設置する。

(26) このアンケート及び「地産地消」についてのご意見等がありましたらお聞かせください。

- ・藤沢産農産物は意外と価格が高いイメージがあるが、そのイメージを払拭できると思う。
- ・PR 活動を知らなかったが、今後は注目していきたいと思うし、期待する。
- ・藤沢の野菜を買うところと言ったら善行のわいわい市くらいしか浮かばないが、とても混んでいるイメージがある。魚は海沿いまで行かなければならない。どこで、どんなものが売っているかをもっとアピールしてもいいのではないかと思う。広報にどんどん情報を載せてみたらどうか。
- ・近所で買い物する小売店やスーパーなどがあると利用しやすい。
- ・スーパーに行った時、地元産が特別な棚に分けて置いてあると、先にそちらに目が行く。今までは、あまり考えなかったが、先日ちょっと多めに買わせてもらった。
- ・近所の無人直売所で農産物を持ち去る人が多いから、中止になってしまったが、とても残念。
- ・地産地消というと新鮮で安価に手に入ることを期待しますが、実際に購入する商品を見ると、こだわりの生産法であったり、付加価値がついて、他の生産品よりも高価であることが多いように感じる。商品の PR はもちろん大切かと思うが、応援する市民に対して何らかのメリットがなければ普及しないと思う。
- ・野菜は近くの直売所によく買い物に行く。新鮮なもの、旬の野菜が並んでいるのを見ると、季節の移り変わりも感じられて、より美味しく感じる。六会地区には「わいわい市」がある。地元の野菜がいっぱい並んでいるだけでなく、きれいなお花も売られているので、行くのが楽しみ。
- ・定年後の方が地産地消に関する職業を市で斡旋すればいいと思う。また、そういうシステムができればいいと思う。
- ・最近、藤沢市民になられた方が増えていると思うので、ロゴマークを含めて、地産地消の PR（パンフレット、マスコット、広報ふじさわ等）をした方がいいと思う。
- ・新鮮そうに見えないのに値段が高いので、買えないことが多い。
- ・藤沢ブランドを嫌いな人はいないと思うので、まずは市民の目に触れてもらう機会をつくること、買いやすくすることが最優先だと思う。
- ・子供の多い藤沢なので、健康、安全、安価な商品で子どもの将来と、地域の将来が豊かになるように地産地消を大いに推進してほしい。
- ・消費者への意識を高めるためにも、地産地消の取組はとてもいいと思うので、今後も積極的に活動してほしい。
- ・スーパーなどで地産地消のコーナーが見当たらない。
- ・藤沢市の地産地消について、ほとんど知らなかった。

- ・以前、友人の車で六会の直売所に行って、何でも揃っていて広々としていたので近くにあったらと思った。車がないのでその後は行ってない。
- ・色々な方法で情報をもっと増やす
- ・車が無いと行けないところではなく、駅の近く等の買いやすい場所でいつでも買いに行けるようなお店があればいいと思う。
- ・駅前広場で地産品を販売して、もっとアピールすればいいと思う。
- ・普段から友達とよく江の島に遊びに行ったりするが、コロナがなければ湘南は観光客にも人気なので、若者に人気のカフェ等で PR すれば効果的だと思う。
- ・地元農業の活性化を計り、衰退を防ぐ。
- ・スーパーで直売会のようなものがあればもっと身近になる。
- ・肉類や魚介類は冷凍できるが、野菜は近くに直売所等ができれば高齢者も助かると思う。毎日野菜が必要なので遠くのスーパーまで買いに行かないといけない。
- ・これからも頑張ってください!!応援しています!!
- ・大型道の駅を建設し、農水産物を販売してはどうか。
- ・無農薬で、安全安心な食材が、消費者の手に入りやすく、かつ土地や地域の環境、健康にも役に立つようなものになればいい。
- ・地産地消の取組で藤沢の野菜や果物は安全安心というブランドにつながると思う。
- ・泥付きで環境に配慮したプラスチックフリーの販売がいい。
- ・市として消費者に伝えていくことを通じて、生産者にも価値を見出す機会を与えてほしい。
- ・湘南は知名度があるが、藤沢は知名度が低いので、湘南と藤沢を結び付けて「地産地消」を進めてもらえると嬉しい
- ・市役所広場等で定期的に野菜や肉（地産）の朝市をやってほしい。
- ・藤沢市ガンバレ！江の島もある
- ・地産地消に興味はあるが値段が高いと買わないと思うので、パッケージや梱包はできるだけ簡単にしてコストを抑えてほしい
- ・コインロッカーみたいな販売の仕方はいいと思うが、鮮度が分からないのでやっぱり実際に触れられる方がいい
- ・私は藤沢に暮らしてみたい街だと実感していて、企業で働いているが、近い将来地域に社会貢献で役に立っていきたくて考えている。いつもありがとうございます
- ・魚はとれたてなら臭みもなく、とても美味しいので近くのスーパーで販売してほしい。
- ・地元の野菜や果物が地元のお店で買えるので嬉しい。新鮮、安心、めずらしい野菜も時々ある。規格外でも安かったらいいと思う。
- ・藤沢ブランドの湘南はまぐりは大きくて、食べてみたいけど高級すぎる。
- ・地元でとれた魚介を一般市民が気軽に食べられるように地元のスーパーで安く売ってほしい。

- ・藤沢産は新鮮と分かるが、高いイメージがあるため、イベント、フリマ等、他の目的と一緒に買ってみようと思う。
- ・地産地消には大変興味があるが、積極的に取り組んでいくべきだと思う。応援しているので、頑張してほしい。
- ・藤沢産の有名品を教えてください。その後は地方応援に全力していきます。
- ・老人や若い人たちが気軽に購入できる場所を増やしてほしい。
- ・藤沢で生まれ育っているので地元を大切に心安んした生活を送りたい。
- ・「国産野菜 100%の飲食店があればいいな」といった会話は外食をするたびにしている。居酒屋ではないファミリーレストラン等で地産地消の食材を使っているご飯屋さんが増えたらこのご時世嬉しいし、その情報をチラシや店の前にのぼり旗等で教えてもらえたら助かる。
- ・地産地消は何も一次産業だけでなく、全産業を通して行う必要がある。その取組が藤沢名産品につながると思う。
- ・地産地消について知ろうと思ういい機会になった。
- ・「藤沢産」ロゴマークを今回初めて知った。知名度が低いので、注意して見ないと気づきにくい。使用した人に対して、インセンティブを与えるべきではないか。
- ・学校などで地元の名産品などを伝える機会を設ける。そうすれば子どもの頃に受けた経験は覚えているし、子どもが親などに伝えれば多くの人に知れ渡る。逆に公民館などを使ったイベントではあまり効果はないのかなと思う。若い世代は行きたがらないし、社会人は時間が無い。それとスーパーの値札の横にちょこっと書けば、値段は人が意識して見てるから目に留まる。そしたら自然と地元のだと浸透して、主婦層や高齢の方にも知れ渡ると思う。
- ・海岸近くに住んでいるが、漁港以外で相模湾産の魚を見ることが無い。一般市場には出回らないのか。海の近くに住んでいるのに、遠方からの大衆魚を購入するたびに複雑な気持ちになる。
- ・「藤沢産」ロゴマークはデザインがありきたりで印象が薄い。
- ・地元愛はあるので藤沢産を積極的に購入するが、農薬の使用等、生産者が安全安心な活動をされていることが分かるといい。

**令和 2 年度
地産地消に関するアンケート結果**

令和 3 年 3 月
藤沢市経済部農業水産課
〒251-8601 藤沢市朝日町 1 番地の 1
TEL 0466-25-1111 (内線 3431)
FAX 0466-50-8255
Email fj-nousui@city.fujisawa.lg.jp